

UNIXサーバー版 バージョンアップ内容 (Ver 5.10R07 → Ver5.11R00)

2002年3月26日
松下システムソリューションズ(株)

・UNIXサーバー版が Ver 5.11R00 にバージョンアップしました。
変更点は以下のとおりです。

機能改善/変更

GlobalFlow 機能改善

●バックグラウンド処理対応

起案/遂行処理の一部をバックグラウンドで行うことができるようになりました。
これにより利用者が感じる起案/遂行処理のレスポンスが向上します。
(次の宛先に回付されるまでの処理時間には変化ありません)
バックグラウンド処理を稼働させるためには、サーバー環境設定ファイルを変更後、再起動する必要があります。詳細は、運用マニュアルをご参照ください。

GlobalForum 機能改善

●文書変換オプション対応

添付ファイルのテキスト抽出、PDF変換機能に対応しました。
テキスト抽出ファイルを検索対象とする全文検索が可能となります。
添付ファイルの文書変換を行うには別途文書変換オプションが必要です。
全文検索を行うには別途全文検索オプションが必要です。

ユーティリティ

●chg_roll 追加

役職管理情報の役職コードを一括変換するユーティリティを追加しました。
ご利用方法については運用マニュアルをご参照ください。

ToDo機能

●ToDo機能 追加

ToDo機能を追加しました。
ご利用方法についてはヘルプをご参照ください。

Palm連携機能

●Palm連携機能 追加(GlobalSync)

Palm機器とスケジュールの連携機能を追加しました。
連携にはGlobalSyncが必要です。

ツールキット(データベース構築ツール)

●tk_stini 追加

ユーザーデータファイル/ユーザー情報を一括設定するツールを追加しました。
ご利用方法については「サーバー側ツールキット(データベース構築ツール)」のマニュアルをご参照ください。

不具合修正

GlobalWare Mail

up_5032	GlobalWindowsクライアントから送信日時指定で送信したメールの送信日時が送信日時指定した日付ではなく実際に送信した日付になる不具合を修正しました。
up_5062	Mac(Content-type: multipart/appledouble等が含まれる)形式のメールの参照時に「該当するメールは存在しません」のエラーになる不具合を修正しました。
up_5062 up_5072	0byteのファイルが添付されたメールの参照時に「該当するメールは存在しません」のエラーになる不具合を修正しました。

SMTPゲートウェイ

piostospool	メールヘッダ情報に不当な情報が付くことがある不具合を修正しました。
-------------	-----------------------------------

リアルタイムウイルスチェック

up_vscheck2	0byteのファイルが添付されたメールのウイルスチェックでウイルスチェックできない旨のエラーが出る不具合を修正しました。
-------------	--

Mac(Content-type: multipart/appledouble等が含まれる)形式のメールのウイルスチェックで ウィルスチェックできない旨のエラーが出る不具合を修正しました。

スケジュール管理

up_a046 重複する定例スケジュールの更新できない不具合を修正しました。

GlobalFlow

up_fb30 呼び戻した書類で、次が保存インスタンス、または、メールインスタンスの場合、遂行を行うと、書類が処理できなくなる不具合を修正しました。

up_fb30 AND分離内で直前者に否認し、直前者が再度遂行すると、書類が処理できなくなる不具合を修正しました。

up_fb30 次が宛先インスタンスで、宛先インスタンスに登録しているユーザーが削除されている場合、宛先未設定が表示されない不具合を修正しました。